令和6年度

## SSH Guide <br> スーパーサイエンスハイスクールガイド

未知の世界を 楽しむ 究める 考える



Advanced Science II
（3 年）

- 四国地区SSH 生徒研究発表会
- 課題研究調查•研究
- 第4回中間発表会


## 

－ミ二課題研究（物•化•生•数）


期

- 第3 回中間発表会（英語）
- 科学英語向上プログラム （小•中学校のALTによる指導）

－英国海外研修


## －研究論文作成

- ASII課題研究成果発表会
- 香川県高校生科学研究発表会
- 県内外での発表会参加

各種発表会での実績（R4年度）
第10回 香川県高校生科学研究発表会
口頭発表部 優秀賞
「カゼインプラスチックの生分解性と強度
～添加物の違いによる比較～」
ポスター発表部門 優良賞
「炭化梅の微生物吸着効果」
「クラドニ図形発生時における
音量の変化について」
「make N～1による分解式の総数～」
第8回かはく科学䂨究プレゼンテーション大会
ステージ部門：愛媛県教育委員会教育長賞
「ハニーワームとポリエチレンの分解について
～ハニーワームのPE 分解と掁食の選沢制～」 ポスター部門 奨励賞

「カロテノイド量と葉の内部構造から考える葉崂け現象」
「カゼインプラスチックの生分解性と強度
～添加物の違いによる比較～」
「炭化梅の微生物吸着効果」
日本省医学会高饺生众画 ザ・サイエンスファーム
口頭発表部門 奨励賞
「野菜や果物が持つ抗力ビ効果」
「ハニーワームとポリエチレンの分解について ～ハニーワームのPE分解と掁食の選択制～」
※論文大会にも積極的に参加しています。

## Introductory Science って？

1 年次に週 2 時間行います。 1 学期は，実験の基本操作や情報処理技術を高めるための実験や実習を中心に行い，2学期は，科学に対する興味•関心の幅を広げるために，大学等の研究者を招いて出張譵義 を行います。3学期は，2年生以降の課題研究に向けて，ミニ課題研究に取り組みます。

## Advanced Science I って？

2年次に週 2 時間行います。自分の興味•関心のある分野や身の回りの不思議を見つけ，研究テーマを決めて，グループ研究に取り組みます。科学的に探究する方法を身につけ，仲間とのディスカッションや研究発表会を行うことで，科学的なコミュニケーションカを高めることを目指しています。

## Advanced Science IIって？

3年次の前期を使い，2年次からの課題研究を引き続き行います。研究結果は論文にまとめたり研究発表を行います。 3 年間の取り組みのまとめになります。


## 知的好奇心を高める関東合宿（3泊4日）＊R元年度㳏囬

－最先端の科学技術を学ぶ


－JAXA



国立環境研究所


－「学びたいことプログラム」で究める
学びたいことプログラムとは…
研修先の選定からアポイントメント，当日の講座内容の打合せなどを生徒自ら計画を立て実施するプログラムです。

※）R 4 年度は行き先を関西に変更し実施（関西合宿）幅広い視野を持つたグローバル人材を育成する英国海外砢修•入

| 列她 1 E三 | 仼虬2 2 E | 列虬3 日 | 仼虬4 日 |
| :---: | :---: | :---: | :---: |
| ロンドン自然史博物館見学 A•Bコースに分かれ，現地校の生徒•保護者と合流し， ホームステイ先へ移動 | 現地校のパートナー <br> - 授業への参加 <br> - 課題研究のポスタ <br> - 校外での施設を見 | とともに活動を行う <br> －実験や実習 －発表 | $A \cdot B$ が合流し，研究者から の講義やノーベル賞受賞者の実験について解説を聴いた り，解説員と交流しながら ワークシート学習を行う |
| －ロンドン自然史博物館 <br> Aコース ニューステッドウッドスクール <br> Bコース <br> バリーセントエドマンズ <br> カウンティアッパースクール <br> ホームステイ |  <br> ホームステイ |  | ケンブリッジ大学 <br>  <br> －ケングリリジサイエンスセンター見学 <br> Nㅡㄴ $\square$ |

※）R 4 年度は代替行事としてコロラド州立大学とのオンライン発表交流会と関東研修旅行を実施

## 知への好奇心，探究心を身に付けた

創造的な人材を育成する
## 国際社会や国家，地域で活躍できる心身ともにたくましく，自主と自律に拠る自由の精神を備えた科学技術系人材，女性研究者•技術者

《生きるカ＝リテラシー》

- 知的好奇心，探究心
- 誌解力，科学的表現力
- 科学的コミュニケーション能力
- 基礎学力
- 諭理的思考力，推論力－批判的思考力
- 自己調整力
- 問題発見能力，問題解決能力
- プレゼンテーション能力

ひろげる視点•視野
国内外か外部粠閉や卒業生•地域との連㒏
理系女子生徒充成プログラム

かんがえる授業
尃門梁化型アクティブラーニンク
教科横断型アクティブラーニンク


ふかめる探究
尃門梁化型淉题矿究（特别理科）
教科獚铒型課帛呵究

※ 1 期目 SSH（2010 年度～2014 年度）2期目 SSH（2015 年度～ 2019 年度）

## 第 3 期（2020年度～2024年度）における主な追加点

1 授業改善（全教科）
○生徒の変容を捉えるためのパフォーマンス課題の開発とその評価法の開発 ○文理融合•教科横断型アクティブラーニングの開発

## 2 課題研究（全教科）

○特別理科コースの生徒の課題研究に加え，普通科（理系•国際文科•文系美術専門コース），音楽科の生徒対象に学校設定教科•科目「未来•未来 への学び」（2 年次 2 単位）を設置し，課題研究を実施

## 3 人材育成 <br> ○生徒主導の「学びたいことプログラム」を生徒自ら企画•運営



## 的高构第一高等学校

〒760－0074高松市楼町二丁目 5 畨 10 号 Tel（087）861－0244（代表）
Fax（087）861－0246 e－mail ：ichiko1＠taka－ichi－h．ed．jp URL：http／／ww．taka－ichi－hed jp


Super Science Highschoo

